

故障かな?と思ったら

次のような場合、故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては11ページをご覧ください。

このようなとき	調べるところ	処置方法
ドリップができない	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクが本体に確実にセットされていますか。 水タンクに水が入っていますか。 電源プラグが抜けていませんか。 使用直後で、本体が熱くありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクを確実にセットする。(5ページ参照) 水タンクに水を入れ、本体にセットする。(7ページ参照) 電源プラグを差し込み、スイッチを入れる。(7ページ参照) 連続して使用するときは、5分以上たって本体が冷めてからおこなう。
コーヒーがバスケットからあふれる	<ul style="list-style-type: none"> 保温ポットを正しくセットしていますか。 保温ポットに保温ポットふたをしていますか。 ペーパーフィルターを正しくセットしていますか。 コーヒー粉を入れすぎていませんか。 細びきのコーヒー粉を使っていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保温ポットに保温ポットふたをして、本体に正しくセットする。(6ページ参照) ペーパーフィルターを正しくセットする。(6ページ参照) 計量スプーンで最大7.5杯までにする。(6ページ参照) 「中びき粉」・「中細びき粉」を使用する。
コーヒーが保温ポットからあふれる	<ul style="list-style-type: none"> 水を入れすぎていませんか。 保温ポットの空気抜き部が、目詰まりしていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 水位目盛り「7」までにする。(7ページ参照) 汚れをかき出す。(10ページ参照)
バスケットの中にコーヒーが残る	<ul style="list-style-type: none"> 細びきのコーヒー粉を使っていませんか。(細かい粉が多く含まれていると、抽出に多少時間がかかります) 	<ul style="list-style-type: none"> 通電ランプが消えた後、しばらくしてから、保温ポットを取り出す。 「中びき粉」・「中細びき粉」を使用する。
保温ポット内が空なのにチャブ音がする	<ul style="list-style-type: none"> 保温ポット内にコーヒーや水が残っていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保温ポット内が空なのに音がする場合は、ふきんの上に保温ポットをしばらく置いてください。(保温ポットの底部は二重構造になっているため、底部にお手入れ時などの水が入る場合があります)

〈ご購入による返品および交換について〉

お買い求めいただいた製品に万一何らかのご不満が生じた場合は、「100%現金返済保証制度」によって製品を返品することができます。この制度は、「特定商取引に関する法律」に定める「クーリング・オフ」の制度を、さらに前進・徹底させた日本アムウェイ独自のルールで、ディストリビューターの場合は、一定条件のもとで、納品書兼返金・返品依頼書に表示されている受注日の1年以内を期限として、製品を返品することができます。製品代金は全額返金されます。ただし、起算日※1から30日を超えた使用済みのハウスウェア、ホームテック製品は返品することができません。ショッピングメンバーの場合は、納品書兼返金・返品依頼書に表示されている受注日の翌日から45日以内は、原則として使用・未使用に関わらずご不満の製品に関して返品することができます(100%現金返済保証制度の対象外製品はありません)。また、お買い求めいただいた製品に、製造上の不良が発見された場合は、同一製品と交換することができます。ただし、浄水器などの家電製品について製造上の不良が発見された場合、または保証期間内に正常な使用状態で故障が生じた場合は、交換ではなく無償で修理いたします。なお、セットで販売した製品の返品・交換は、セットでのみお受けします。返品・交換及び取り扱い手数料、送料などご注文に関する詳細は、お手元のアムウェイカタログ※2やamwaylive.comをご参照ください。お客様におかれましては、お知り合いのアムウェイ・ディストリビューターに返品・交換に関する詳細をご確認ください。

※1 起算日とは、「小売伝票」のご契約内容確認書、「お申し込み内容確認書」、「納品書兼返金・返品依頼書」または「製品」の受領日のうち最も遅い日を指します。
※2 最新のアムウェイカタログ(発注番号8404)は、1部200円(当社が別途定める期間中は100円)にてお求めいただくことができます。



日本アムウェイ合同会社
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-1
www.amway.co.jp

テクニカル・ホットライン
☎0120-950-987 (フリーダイヤル)
(祝日・第5土曜日を除く 月~土/9:00~17:00)
携帯電話からはこちらへ0570-064-632(有料)

TINSJA031LREZ 10LE © 100907

アムウェイコーヒーメーカー・カフェテック保証書

(型名: E-5072J)

(持込もしくは送付修理)

このたびは、アムウェイコーヒーメーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中(お買い上げの日より1年間)に故障が発生した場合は、テクニカル・ホットラインにお問い合わせください。テクニカル・ホットライン 0120-950-987(フリーダイヤル) 携帯電話からは0570-064-632(有料) 修理を依頼される場合は、商品と本書をご持参、ご提示ください。

☆この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書期間経過後の修理などにつきまして、おわかりにならない場合はテクニカル・ホットラインにお問い合わせください。

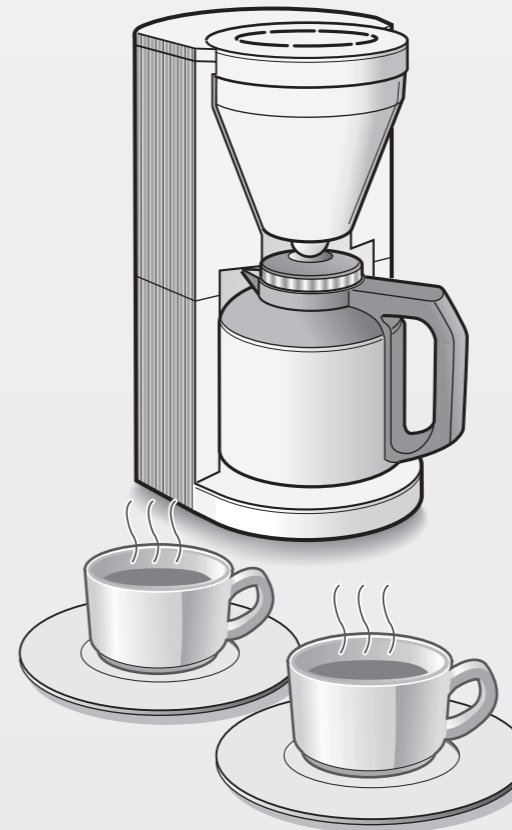
☆保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。また、この保証書は、大切に保管しておいてください。

保証期間	お買い上げ日	お客様名:
	年 月 日より 本体は1年間	
	製品のロット番号: (製品の底/箱の側面にスタンプされている4ケタの数字番号) …例: 5001	ディストリビューター名:



アムウェイコーヒーメーカー・カフェテック™ 取扱説明書/保証書

製品番号
E-5072J



目次

	ページ
●安全上のご注意	2
●使用上のご注意	4
●各部のなまえ	5
●正しい使いかた	6
●こんなときは	8
●おいしいコーヒーをいただくために	9
●お手入れのしかた	10
●仕様	11
●保証とアフターサービス	11
●故障かな?と思ったら	12
●保証書	12

このたびは、アムウェイコーヒーメーカー・カフェテックをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。この取扱説明書には、保証書がついていますので、いつでも見られるところに、大切に保管してください。

Amway Coffee Maker



TM

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。図記号をよく理解してから取扱説明書をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

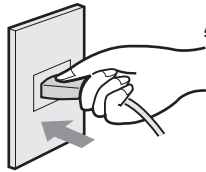
図記号の意味

-  してはいけないことを表しています。
-  しなければならないことを表しています。

警告

定格15A以上のコンセントを単独で使う 100V/15A

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



必ず実施

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因となります。



禁止

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



必ず実施

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

注意

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

(畳、じゅうたん、テーブルクロスなど) 火災の原因になります。また、火気の近くでのご使用は、おやめください。



禁止

壁や家具の近くで使わない

蒸気または、熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形の原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくは保温ポット置台に触れない

やけどの原因になります。



接触禁止

抽出中に保温ポットをはずさない

やけどの原因になります。



禁止

仕様

電源	100V
外形寸法	約幅190mm×奥行225mm×高さ352mm
質量	約2.5kg
コード長さ	1.4m
消費電力	850W
容量	0.96L

保証とアフターサービス

ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

製品の保証について

- この製品には保証書がついています。保証書はお買い上げのとき所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みの上大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理についても、テクニカル・ホットラインにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(12ページ)をよくお読みの上、もう一度調べてください。
- それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、テクニカル・ホットラインにお問い合わせください。修理は、この製品の ・製品名 コーヒーメーカー ・製品番号 E-5072J ・故障の状態 をご連絡のうえ、お申しつけください。
- アフターサービスについてわからないことは… テクニカル・ホットラインにお問い合わせください。

補修用性能部品について

当社はこのコーヒーメーカーの補修用性能部品を製造打切後最低6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

テクニカル・ホットライン 0120-950-987(フリーダイヤル) 携帯電話からは0570-064-632(有料)



長期ご使用の場合は商品の点検を! こんな症状はありませんか?

- スイッチを入れても動作しないことがある。
- 電源コードやプラグ、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがする。
- 保温ポットのとってがぐらつく。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ずテクニカル・ホットラインにご連絡ください。なお、点検・修理に要する費用は、テクニカル・ホットラインにてご確認ください。

(無料修理規定)

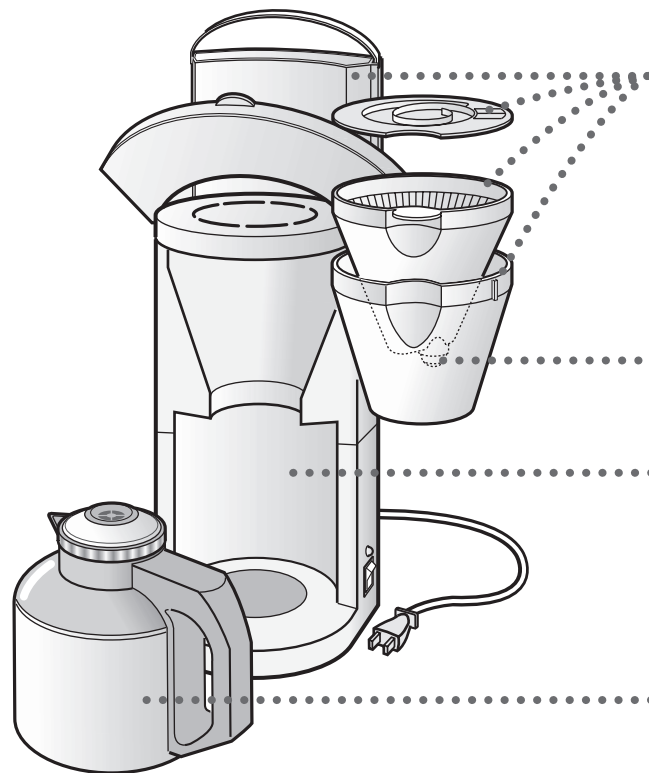
- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理をします。
- 保証期間内でも、次の場合には、有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、ディストリビューター(販売員)名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ニ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地災など、外部に原因がある故障・損傷。
 - (ヘ) 一般家庭用以外(例えば、業務用)に使用された場合の故障・損傷。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

本書に記載されたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のためにのみ利用させていただきます。当社は日本工業規格JISQ15001に準拠した情報の適切な保護に努めております。当社の個人情報保護方針及び個人情報の取扱いについてはホームページ(<http://www.amway.co.jp>, <http://www.amwaylive.com>)をご参照ください。

日本アムウェイ合同会社 テクニカル・ホットライン
0120-950-987(フリーダイヤル) 携帯電話からは0570-064-632(有料)

お手入れのしかた

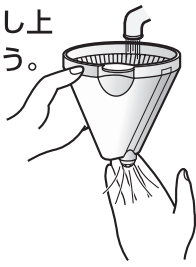
- 電源プラグを抜き、本体が十分に冷えてからおこなってください。
- みがき粉やたわし、シンナー、アルコール、化学ぞうきんなどは使わないでください。
- 熱湯は使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わないでください。



抽出後は高温になっていますので、十分に冷えてから、台所用中性洗剤を使って、スポンジで洗い、よく流す。

しずくもれ防止弁を押し上げたまま水をかけて洗う。

- コーヒー粉が詰まると、弁の閉まりが悪くなり、コーヒーがあふれることがあります。



本体はよく絞ったふきんでふく。

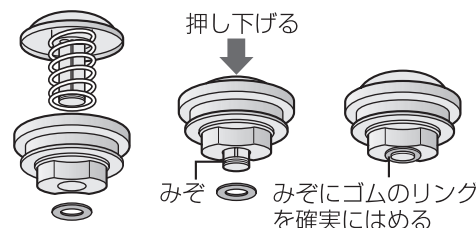
- 保温ポットの内部は、柄付スポンジを使って洗う。
- 保温ポットは、水切りかごなどに逆さまに置いて乾燥させる。
- 保温ポット内部のこびりついた汚れは、水筒用漂白剤を使用する。
- 保温ポットの空気抜き部に汚れがたまっているときは、つまようじなどでかき出す。



空気抜き部



保温ポットふたが分解してしまったときは



※ゴムリングは紛失しないように、ご注意ください。

本体の内部もきれいにしよう！

水質により、本体内のパイプに湯あかが付着し、お湯の出具合が悪くなる場合があります。(とくにアルカリイオン水、ミネラル水などは、水道水より湯あかが付着しやすくなります) 月に一度は、次のようにお手入れしてください。

- ① 水タンクにクエン酸約10g(大さじ1杯)を入れる。
- ② 水を水位目盛り「6」まで入れ、はしなどで混ぜ、コーヒー粉を入れずに「正しい使いかた」の手順どおりにドリップする。
- ③ 保温ポットにたまったお湯を捨てる。
- ④ ①～③をもう一度繰り返す。
- ⑤ 水タンクをすすぎ、さらに水だけでドリップして、クエン酸の臭いを取る。

*クエン酸は薬局でお求めになれます。

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり加工したりしない



禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電・けがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない



禁止

やけど・感電・けがをすることがあります。

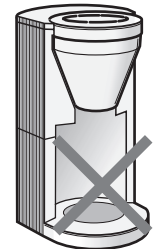
蒸気口に触ったり、顔などを近づけない



接触禁止

やけどの原因になります。

保温ポットなしで使わない



禁止

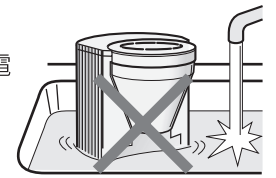
バスケットからコーヒーがあふれ、やけどをすることがあります。

水につけたり、水をかけたりしない



水ぬれ禁止

ショート・感電のおそれがあります。



改造はしない。また、修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理をしない



分解禁止

感電・火災・けがの原因となります。修理は、テクニカル・ホットラインにご相談ください。

保温ポットをのせたまま本体を動かさない



禁止

やけどの原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く



必ず実施

感電やショートして発火することがあります。

お手入れは冷えてからおこなう



必ず実施

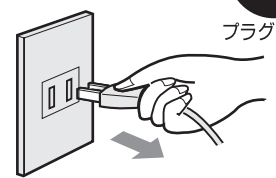
高温部に触れ、やけどのおそれがあります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



使用上のご注意 …こんなことにもご注意を

- バスケット、バスケットカバーを確実にセットする

- ドリップ中やドリップ直後はバスケットカバーを開けたり、顔や手を近づけない

出湯口から出る蒸気や熱湯で、やけどをする恐れがあります。

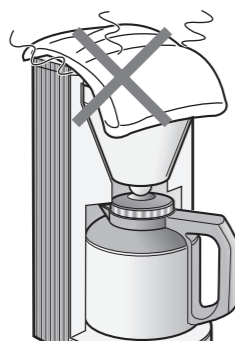
- 保温ポットふたを押さえて注がない

保温ポットふた中央および周辺から、熱いコーヒーがこぼれ手にかかる恐れがあり、危険です。



- ドリップ中はふきんなどで蒸気口をふさがない

本体が変形する恐れがあります。



- 使用中や使用後しばらくは、本体を動かさない

コーヒーや熱湯がこぼれて、やけどの原因となります。

- 水タンクに水以外のものを入れない (お湯・牛乳・酒・一度わかしたコーヒーなど)

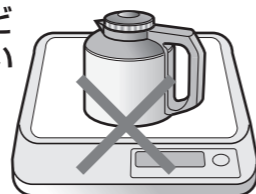
熱で水タンクが変形したり、故障の原因になります。

- 水タンクに水を入れたまま放置しない

水が腐敗したり、故障の原因になります。

- 保温ポットを、ガス火やインダクションレンジなどの熱源にかけない

変形、破損の原因になります。



- 続けてコーヒーをいれるときは、約5分以上待つ

内部のヒーターが熱いうちに給水すると、蒸気口や出湯口から、蒸気や熱湯が出る恐れがあり、危険です。



- 蒸気口のあるひさし部分や水タンクふたを持って持ち運ばない

変形、破損の原因になります。持ち運ぶときは、本体の胴部を両手で持ってください。



- 空だきをしない

水タンクに水を入れずに使用しないでください。故障の原因になります。

- 保温ポットを、車などで持ち運ばない

倒れると、コーヒーが漏れる恐れがあります。(完全に密閉されていないため)

- 次のような場所で使用しない

火災や故障の原因となります。

- 水のかかるところや、火気・熱源の近く。
- ビニールシートのような、熱に弱い敷物の上。
- キャビネットのような、蒸気がこもりやすい所。
- 壁から10cm以内の場所。

おいしいコーヒーをいただくために

初めて使用するときや、長期間使用しなかったときは、まず…

本体の内部をきれいにするために、水だけを入れて運転する。(ペーパーフィルター、コーヒー粉は使用しない)(7ページ参照)

1 「おいしさ」を損なう要素を取り除こう！

- コーヒーメーカーはいつも清潔にしておく

保温ポットや保温ポットふた、バスケットなどは、お手入れのしかた(10ページ)にしたがって、できるだけ早く水洗いしておく、においや汚れがこびりつきません。

- 水はなるべく「浄水」を使う

水道水の「カルキ臭」は、コーヒーの味や香りを損なう原因となります。

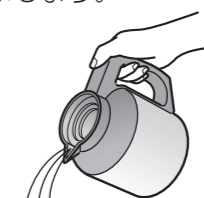
2 「あつあつ」でいただくための気配りを！

- 使用前に保温ポットをあたためておく

より「あつあつ」をいただくために、保温ポットの内部をあたためておくことをおすすめします。とくにドリップする量が少ないときは、コーヒーの温度が低めになるので、ぜひおこないましょう。



保温ポットにお湯を入れて約1分待つ。



お湯を捨てる。



保温ポットふたをしっかりとめて本体にセット。

- コーヒーカップをあたためておく

マグカップなどの厚手のカップは、とくにコーヒーの温度が下がりやすいので、ぜひおこないましょう。



コーヒーカップにお湯を注ぎ約1分待つ。



お湯を捨てる。



コーヒーを注ぐ。

3 コーヒー粉の保存方法に注意しよう！

- コーヒー粉は密封して冷蔵庫で保存する

コーヒーの味を損なわないために、高温多湿のところでの保存は避けましょう。

こんなときは



途中でドリップをやめたいときは…

電源プラグをコンセントから抜いてください。
水タンクに残った水を捨ててください。
本体内部に残っている水は、本体を傾けて捨ててください。



保温するときには…

保温ポットふたをしっかりと閉めておいてください。
保温ポットのステンレス部は真空構造で保温性にすぐれていますが、時間の経過とともにコーヒーの風味が失われ、温度も下がっていきます。できる限り早めにお召し上がりください。



続けて作るときは…

本体が冷めるまで(約5分間)待ってから、正しい使いかた(6~7ページ)の手順にしたがってください。

ドリップ後すぐに水を入れると、内部のヒーターが熱くなっているため、蒸気口や出湯口から蒸気や熱湯が出て危険です。
また、本体が冷めるまでは、電源は入りません。

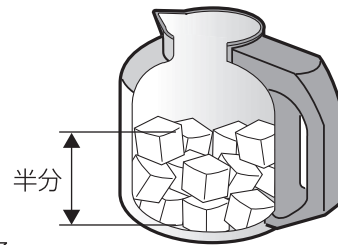
アイスコーヒーを作るときは…

3カップから6カップまで作ることができます。

作りかたのポイント

① 氷は…

- 保温ポットの半分まで氷を入れて、本体にセットする。
(注) 半分以上入れますと、コーヒーがあふれる場合があります。
- ドリップ終了後、お好みで氷を追加する。



② コーヒー粉は…

- アイス用コーヒー粉を使用する。

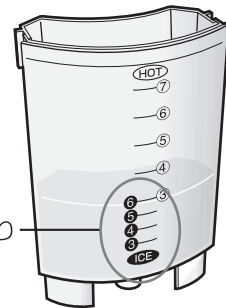
コーヒー粉の量の目安

カップ数	計量スプーン(すりきり)
3	3杯
4	4杯
5	5杯
6	6杯

③ 水は…

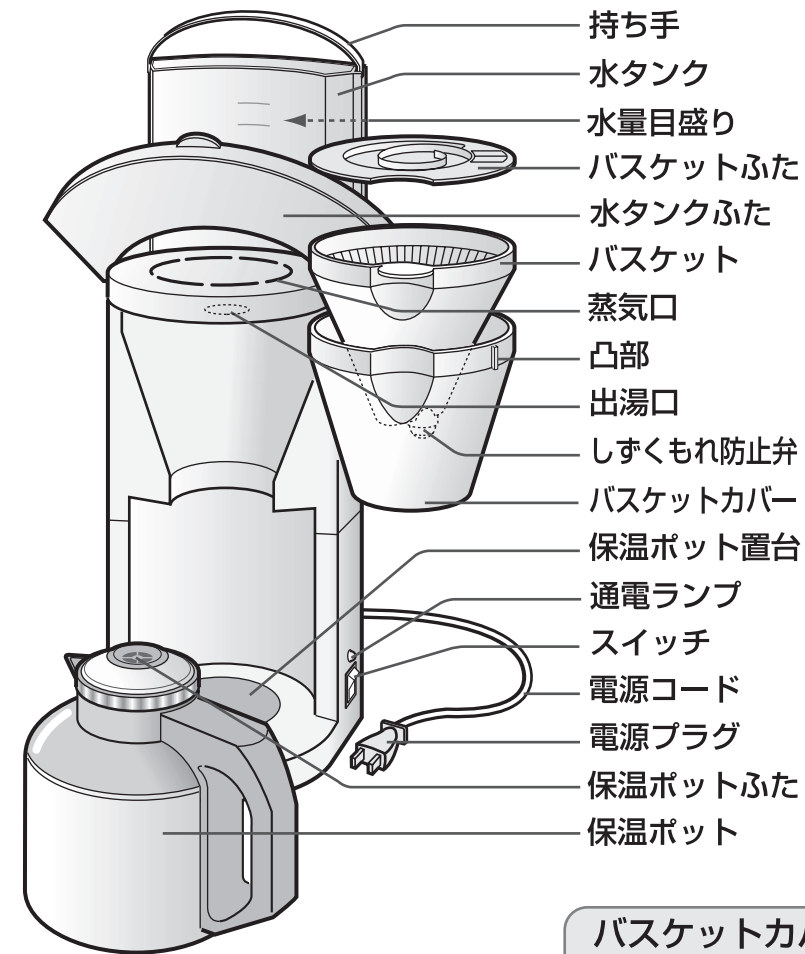
- 水タンクのアイス用目盛りを使用する。
(注) アイス用目盛り6カップ以上水を入れますと、コーヒーがあふれる場合があります。

アイス用目盛り



- 基本的な手順は「正しい使いかた」(6~7ページ)を参照ください。
- お好みでシロップやクリームを加えて、お召し上がりください。

各部のなまえ

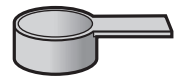


付属品

- ペーパーフィルター(5枚)
なくなりましたら別売セールスエイドのペーパーフィルターをお求めください。

製品名 無漂白ペーパーフィルター
(With アロマホール)
製品番号 AD-5550J
ご発注時の番号 595

- 計量スプーン(1個)



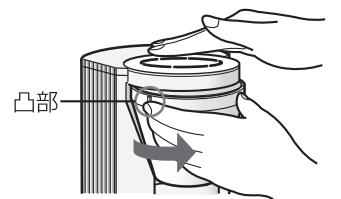
保温ポットの別売について (保温ポットふた付き)

製品名 ステンレス保温ポット
製品番号 AD-5551J
ご発注時の番号 5551

バスケットカバーの取り扱いについて

●開けるときは

凸部に指をかけ、手前に引き出す。



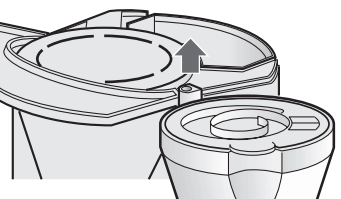
●閉めるときは

カチッと鳴るまで押し込む。



●はずすときは

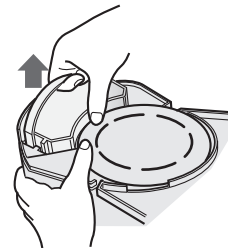
水タンクふたを開け、バスケットカバーを開けた状態で引き抜く。



水タンクの着脱について

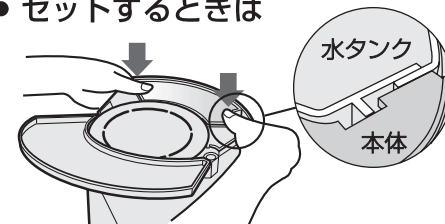
●はずすときは

水タンクの持ち手を持って、真上に引き抜く。
(もう片方の手で必ず本体を押さえておく)



●セットするときは

本体の天面と水タンクに段差が生じないように、最後まで確実に押し込む。



正しい使いかた

初めて使用するときや、長期間使用しなかったときは、まず…

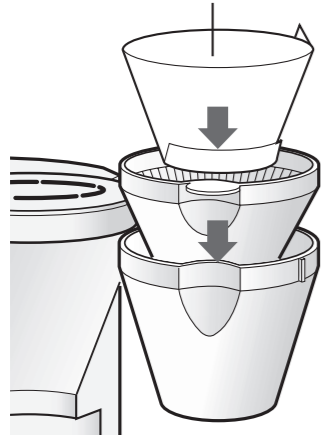
本体の内部をきれいにするために、水だけを入れて運転する。(ペーパーフィルター、コーヒー粉は使用しない)

- ① 正しい使いかたの「3」からおこなう。
- ② 水は6カップ分入れる。
- ③ 1、2回おこない、本体が冷めたら(約5分)完了。

1

バスケットカバーにバスケットを取り付け、ペーパーフィルターをセットする。

ペーパーフィルター

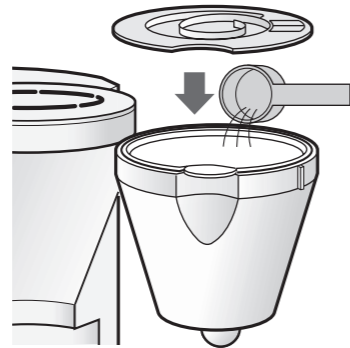


■ペーパーフィルターの折りかた

- ① 下を折る
- ② 横を折る
- ③ 広げる

2

バスケットにコーヒー粉を入れ、バスケットふたをセットする。



■コーヒー粉の量の目安

カップ数	計量スプーン(すりきり)
3	3杯
4	4杯
5	5杯
6	6杯
7	7杯

計量スプーンすりきり1杯 = 約8g

- コーヒー粉の量は、お好みにより加減してください。
- コーヒー粉は、「中びき」・「中細びき」をご使用ください。

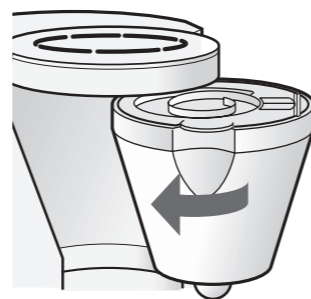
注意.....

コーヒー粉の量は計量スプーン7.5杯までにしてください。(バスケットからコーヒーをあふれさせないため)

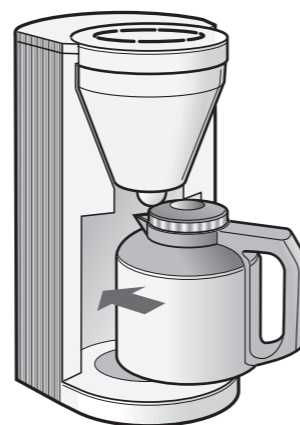
3

バスケットカバーを閉め、保温ポットをセットする。

- ①バスケットカバーを確実に閉める。



- ②ふたをしっかり閉めた保温ポットを本体にセットする。



ポイント!.....

保温ポットの内部を、お湯で温めてからお使いいただくと、コーヒーが冷めにくくなります。(9ページ参照)

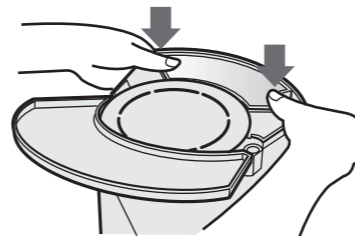
4

水タンクに水を入れ、本体にセットする。

- ①水タンクを本体からはずし、必要なカップ数の目盛り(ホット用)まで水を入れる。



- ②水タンクを本体に確実に押し込む。(このとき、水の一部が本体内部に流れ込むので、水位が目盛りより少し下がります)

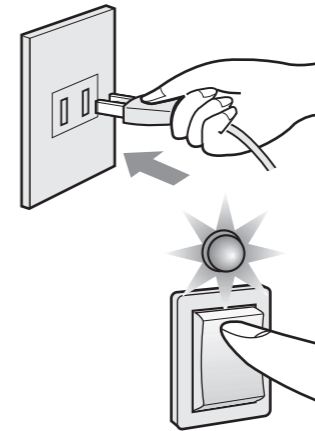


注意.....

水タンクを本体にセットしたままで水を入れしないでください。ポットからコーヒーがあふれ出たり、薄いコーヒーになることがあります。

5

電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れる。



通電ランプが点灯し、運転が始まります。

■できあがり時間の目安

カップ数	時間
3	約4分
4	約5分
5	約6分
6	約7分
7	約8分

(水温・室温20℃のとき)

注意.....

ドリッピング中は、バスケットカバーを開けたり、保温ポットを動かしたり、本体からはずしたりしないでください。

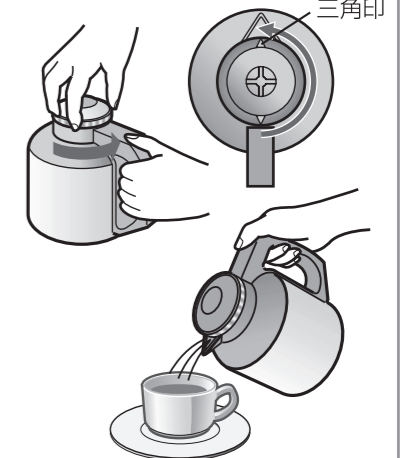
6

通電ランプが消えたらできあがり。保温ポットを取り出し、カップに注ぐ。

ドリッピングが終われば自動的に通電ランプが消えます。



保温ポットふたを半回転させ、三角印を注ぎ口に合わせて、注いでください。



注意.....

通電ランプが消えてもコーヒーを抽出している場合がありますので、しばらくしてから、保温ポットを取り出してください。

…ご使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。